

福島にタオル144枚

福島県老人クラブ連合会に6月末、マフラー型のタオル144枚が届いた。写真(提供)。「鹿児島県有志」とだけ記されており、贈り主は不明。同連合会は「被災地応援のために贈ってくれたのだらう。ちゃんと届いた」という報告と感謝の気持ちを伝えたい」と、この件を知らせる手紙を南日

贈り主不明、名は「鹿児島県有志」だけ



本新聞社に郵送した。同連合会によると、タ

オルは幅20センチ、長さ120センチ。ウサギやハリネズミといった動物が描かれており、赤や青、緑など全部で5種類あった。段ボールに、二つ折りにして入れてあったという。手紙などのメッセージは添えられていなかった。

福島県では東日本大震災から1年4カ月たった

今も、多くの人が故郷を離れ生活している。同連合会の齋藤千恵子事務局長(54)は「遠い鹿児島からの応援に力と勇気をもたらえた」。

タオルは今後、同連合会のイベントなどを通じて被災した高齢者や子どもたちに届ける予定。齋藤さんは「復興に向けて前向きに頑張っていく福島県をこれからも見てほしい」と話した。